



高見順日記

才四卷

勁草書房

---

## 高見順日記 第四卷

---

1964年12月3日 第1刷発行

定価 700 円

1966年8月5日 第2刷発行

著 者

高 見 順



発行者

井 村 寿 二

東京都千代田区神田駿河台2-3

印刷者

白井倉之助

東京都青梅市根ヶ布385

---

発行所

東京都千代田区  
神田駿河台 2-3

勁 草 書 房

(株式会社大和出版部)

---

落丁本・乱丁本はお取りかえします。

© 1964 Jun Takami

精興社印刷・複製本

Printed in Japan

## 序

いわゆる戦局が悪化するにつれて、どういうわけか、いよいよ熱心に日記を書いている。熱中といってもいい。いくら熱中しても、日記の中でも書いているように、いつ失われてしまうかもしれない状態だった。戦局の悪化とは、私的にはそういう状態、条件の悪化だったのに、思えば不思議な熱中である。また警察の特高刑事がたえず訪ねてきていて、以前の「古きず」の故にいつ捕えられるかわからない恐れもあった。そのとき、この日記が押収されて処罰の証拠とされかねない。そのため表現に手びかえをしなければならないいやな抑制がありながら、しかもなお書かずにいられなかった。今日からすると、なつかしい熱中である。書かれていることについては別として、熱中という点では我ながらほめてやりたいとも思われる。

昭和三十九年十一月

千葉、中山外科病室にて

## 凡 例

- 一、カナ使いは、旧カナを新カナにあらためた。
- 一、漢字は、原則として当用漢字にあらため、難読と思われる漢字には、フリガナを付した。
- 一、近年カナ書きがふつうとおもわれるところはカナ書きになおした。たとえば「所謂」「出来る」などを「いわゆる」「できる」にした。
- 一、あきらかな誤字脱字は訂正した。
- 一、執筆当時の特殊な事情から明記していない箇所はそのまま伏字にしてある。また、原稿では明記してあるが、当事者等に迷惑を及ぼすおそれがあると判断して、本版で伏字にした箇所もある。
- 一、さして重要でないと思われる新聞の切抜き相当数を割愛した。
- 一、以上のほかは、日記の原文章にいささかの改変をも加えてはいない。

高見順日記 第四卷 目次

原爆投下

|         |     |
|---------|-----|
| 昭和二十年五月 | 3   |
| 昭和二十年六月 | 99  |
| 昭和二十年七月 | 209 |
| 昭和二十年八月 | 345 |

# 原爆投下

——昭和二十年五月ゝ昭和二十年八月十四日——



五月一日

倉橋君来る。ともに店（註〓貸本屋鎌倉文庫）へ行く。

開店。――遮<sup>しや</sup>二無<sup>む</sup>二、開店という感じた。

「よくまあ予定通り開けましたな」

といわれ、

「全く――」と私自身いうのだった。これで私もひとまずほっとした。ひきうけておいて、開けなかったら面目丸潰れだ。――しかしこれからが大変だ。小泉君という熱心な働き手を偶然探し得て、これが何よりもうれしい。私と山村君と二人で交代で店の事務をやる積りでいたが、山村君は身体の子が悪いし私も総轄的な仕事をやらなくてはならないので、事務にかかりっ切りというわけに行かない。事務を専門に小泉君に当って貰えるのは、たすかる。

久米さん夫妻（註〓久米正雄夫妻）、川端夫人（註〓川端康成夫人）、中山氏夫妻（註〓中山義秀、真杉静枝）、小島さん夫妻（註〓小島政二郎夫妻）、横山（註〓横山隆一）、清水（註〓清水崑）、大佛（註〓大佛次郎）、林

(註Ⅱ林房雄)、永井(註Ⅱ永井龍男)の諸氏、まず総出動の形で、手伝ってくれる。

百名あまりの申込があった。現金千余円。——派手なようで、これは預りの金だ。計算してみたら、一日百名では、やって行けない。というのは、貸出料平均二十銭として百名で二十四、出品者に六分配当の予定だから、店へ取れるのは、たった八円、一月で二百四十円。これでは維持できない。一日二百名でも苦しい。「持ち逃げ」がないと、金が入らぬ。そして、あまり「持ち逃げ」が多すぎると、本がなくなってまたやって行けない。

「持ち逃げ」を防ぐため、それに貸本に出すには惜しいような新本ばかりなので、保証金をやや高くした。(高いどころか、現在の物価では、安いという説もあるが。)そして、貸本料を安くした。——やってみて、いろいろ変えねばなるまいと思う。

\*

ムッソリーニ逮捕さる。

ムッソリーニ統帥

党領袖と共に逮捕さる

〔チューリッヒ特電二十八日発〕北伊に蜂起した反独分子の一味はミラノの大半を占拠したと伝えられるが、キャッソ(スイス、イタリア国境)からのスイス通信情報及び二十七日ローマ発ユー・ピー電によればミラノ放送局はムッソリーニ統帥およびバヴォリーニ・ファシスト党書記長、ファリナッチ前無任所相を逮捕した旨放送したといわれる

〔リスボン廿九日発同盟〕ミラノに蜂起したイタリアの「国民解放委員会」はその手中に収めた放送局を通

じて二十七日ムッソリーニ統帥および二名のファシスト領袖を逮捕した旨発表した

同委員会の公報によればムッソリーニおよびバヴォリーニ、フアリナッチ三氏はコモ湖畔アッソにおいて税関吏に逮捕されたといわれる

さらに情報によればムッソリーニ統帥などとともに逮捕されたファシスト要員は十七名に上り、その中には前閣僚数名を含んでいる模様である

(朝日)

ドイツ降伏説あり

独の降伏説流布さる

『米英両国に対し無条件で』

〔上海特電二十九日発〕桑港のロイター特派員ポール・ランキンが二十八日桑港会議各国代表筋より得たる情報として伝えるところによれば、英米両国に対し独がソ聯を除外し英米両国に無条件降伏の用意ある旨を通告したといわれる、ニューヨーク・タイムスワシントン特派員も二十八日若干の責任ある筋の情報として同様の報道を行った

米英とも否定的

噂に根拠なし

トルーマン声明

〔リスボン二十九日発同盟〕ワシントン来電〓大統領トルーマンは二十八日ドイツの無条件降伏に関し左の声明を発表した

米政府がドイツの降伏申入れを受諾したとき事実はない、余は通常通り白亜館に来て、それからサンフランシスコおよび国務省からそのことに関して報告を受けたきりである、余は大統領附総参謀長リーイと協議したがリーイはついで歐洲反枢軸軍總司令官アイゼンハウアーと長距離電話で連絡をとった、余が現在いい得るすべてはこの噂にはまだ根拠がないということである

〔リスボン二十八日発同盟〕ワシントン来電〓米大統領秘書官ヨナサン・ダニエルは二十八日次の通り言明した

米政府はドイツの和平提案に対し今のところ何ともいえない

ソ聯を含めよ

チャーチル声明

〔ストックホルム廿八日発同盟〕ロンドン来電〓英国首相チャーチルは二十八日次の特別声明を発表した

ロイター通信社の報道によればヒムラー氏は米英兩國のみに無条件降伏を申入れ、米英兩國はソ聯を含めて反枢軸全体に対する申入れがない限り、無条件降伏を受諾せぬ旨回答したというが、英国政府は今のところ以上に關し発表すべき情報は何も持合せていない、米英ソ三国に対する無条件降伏のみを受け入れるであろう

スウェーデン

瑞典も一役

流説の経緯

〔リスボン三十日発同盟〕ヨーロッパ戦争が最終的段階の様相を呈するに至るとともに米英兩國の宣伝機関は独国内の情勢についてあらゆる種類の報道を流布しはじめたが二十八日午前サンフランシスコ會議に出席

のエー・ビー特派員は「會議に参加している高官の言明」と称し独内相兼国内軍司令官ヒムラー氏が米英兩國に降伏を申入れた旨を報道、會議に参加している各国代表の間に一大旋風を巻起した、刻を移さず英政府は首相官邸から

右報道については当局としては只今何もうことはできない

旨を声明し、ついで数時間を経て米大統領トルーマンは

歐洲からの平和に関する噂には何等根拠がない

旨言明した、もちろん競争相手のエー・ビー通信は直ちにエー・ビーのデマを否定し報道自由主義の欠陥を遺憾なく暴露したが、エー・ビーも負けてはおらず、特に当人の許可を得て「高官とは上院外交委員長トム・コナリーだ」と見得を切った

さらに二十九日夜に入つてスウェーデン外務省がベルナドッテ伯なる人物がヒムラー内相の伝言を米英兩國に伝えた旨公式発表したが独本国と外部との連絡が杜絶している現在如何なる経路によつてベルナドッテ伯がヒムラー内相の伝言を受取つたか、同伯の地位、人物などがどの程度か判らぬ以上、この種の流言は戦争の最終段階に必然的に随伴する症状と見なすべきであろう

(朝日)

五月二日

雨。

一時に店へ行く。雨で客足が落ちるかと思つたが、そうでなかった。やがて雨がやんだせいもあるが、ひっきりなしの客だった。朝日の神奈川版に、「鎌倉文庫」大繁昌という記事が出ているという。(私の家のは未着。)それが宣伝になっているせいだろうか。昨日より客は多いように見えたが、新規申込百余名。

大体一日百名ときまりそうだ。——一日百名では、やって行けないという昨日の計算は、大間違いだっことを発見。外に出ている本が平均一日百冊では、たしかにやって行けないが、新規申込一日百名だったら、大いにやって行ける。何故なら、一人で二、三冊借りて行く人があり、昨日と今日とで三百冊ほど出ていると小泉君がいう。そして今日、返して来た本は、五十冊足らず。数日経って見ないと、たしかなことはわからぬが、外に出ている本が平均一日百冊なんてことはないだろうということだけは確かだ。——文士の計算なんてあやしげなものだ。いや、文士といっても私だけのこともしれぬが。いや、今日、店で、一日百名ではやって行けないという心細い話を、居合せた久米、小島両氏に話したら、両氏とも、なるほどといっていて、その誤謬に気がつかなかった。

中山、清水、横山の諸君、店へ来る。大佛さんのぞいて、仕事があるからと帰る。私も須貝君と約束した原稿を書かねばならないのだが——。

妻、電球を持って来る。そのまま、店番。

家へ帰ると新聞が来ていた。ムッソリーニが殺された。それからドイツ降伏提議の記事。

### ム首相等遂に銃殺

〔チヌーリヒ特電廿九日発〕中立国筋の一情報によればムッソリーニ首相は北伊コモ湖畔においてイタリアゲリラ部隊に逮捕されたのち銃殺され遺骸はミラノに運ばれたと伝えられる

〔リスボン廿日発同盟〕ローマ来電〓地中海方面反枢軸軍司令部は廿九日

「ベニト・ムッソリーニ氏は廿八日イタリア北部で処刑され彼の死体はすでに処刑された他のファシスト党領袖十七名の死体とともにミラノ市広場に公開されている」旨発表した

一方ミラノ放送によればムッソリーニ統帥はイタリア叛徒の人民法廷に付せられた廿八日午後四時十分コモ州のムリノヴィ・メザドロにおいて処刑された死体はミラノのロレト広場に移されたものだといわれる〔チューリヒ廿日発同盟〕廿九日夜のミラノ放送はムッソリーニ首相以下のファシスト党首脳の処刑に次いで廿八日コモ州のドンゴ（コンスタンヌ湖北岸）においてイタリアファシスト政府首脳を射殺した旨発表したといわれるが、主たるものの次の通り

書記官長フランチェスコ・ヴァラック、内相バオロ・ツエツビノ、公共文化相フェルナンド・メッツアン  
ス博士、公共事業相ルヂエロ・ロマノ、交通相アウグスト・リヴェラーン、裁判所長官ゴフレド・コボラ、  
ステファニア通信社主筆エルネスト・ゴザノ、またファシスト党元書記長アヒレ・スタラセ氏も廿九日朝  
射殺されたと伝えられる

〔チューリヒ廿日発同盟〕ミラノ来電によればイタリア国民解放委員会本部は前イタリアファシスト軍司令  
グラチアニ元帥が廿日朝ミラノにおいて裁判に付され直ちに処刑された旨発表したといわれる（読売報知）

### ドイツ降伏提議問題

〔ストックホルム特電廿九日発〕スウェーデン外務省は廿九日スウェーデン人ベルナドッテ伯が個人の資格  
においてヒムラー氏の対米英無条件降伏に仲介役を勤めた事実を認め次の如く発表した

ベルナドッテ伯はヒムラー内相兼国内軍総司令官の依頼によりドイツの無条件降伏提議をスウェーデン外  
務省及びストックホルム駐劄米英両国公使に伝達、本国政府への移牒方を求めた

〔ストックホルム特電廿九日発〕ダーゲンス・ニヘター紙の報道によればスウェーデン国王の甥に当りヒム  
ラー氏一派と親交のあったスウェーデン赤十字社副総裁フォルケ・ベルナドッテ伯はヒムラー氏の要請によ  
り空路ドイツに赴き四月十九日、廿日、廿一日の三回に互りベルリンでヒムラー氏と会見さらに廿四日北独  
某地で第四回目の会見をなした後即日ストックホルムに帰還ヒムラー氏の伝言を関係方面に齎した、さらに

伯は廿七日再び空路デンマークに赴き目下デンマークまたは北独の某地に滞在中の様様である

〔チューリヒと特電卅日発〕エクステンジ通信の報道によればベルナドッテ伯は廿九日空路再びデンマークに至りドイツ、デンマーク国境で重ねてヒムラー内相と会見卅日朝急遽ストックホルムに帰還、ヒムラー内相の書面を齎らしたといわれる、なお一説によればヒムラー内相自身はストックホルムに赴き卅日、帰国したともいわれる

〔ストックホルム特電卅日発〕英首相チャーチルは閣僚及び上下両院議員に対し卅日ロンドンに止るよう要請した、なおチャーチルは廿九日深更国際電話を以て米大統領トルーマンと重要打合をなした

〔リスボン卅日発同盟〕ワシントン来電〓米大統領トルーマンは卅日次の通り言明した

公式に発表出来る時が来れば歐洲における戦争の終結についてホワイト・ハウスは報告するであろう

一方英首相チャーチルも今週中に英国下院において歐洲戦争について重要報告を行うに決定した

〔ストックホルム特電卅日発〕卅日付ダーゲンス・ニヘター紙は米英ソ三国歐洲諮問委員会で作成され各本国政府の承認を得た対独休戦条件なるものを大要次の如く報じている

一、全戦線における独軍の即時戦闘停止、武器の放棄

一、ノルウェー、デンマーク派遣独軍の戦闘停止、武器の放棄、全海岸線より八キロ奥地への撤退

一、全独軍の移動移駐の禁止

〔ストックホルム卅日発同盟〕ロンドンからのAPの報道として伝えられるところによれば英首相チャーチルは週末以来主要閣僚を招致更に陸海空軍の代表を集めて連日商議を重ねていると伝えられるさらにロイターの政治記者の報道するところによれば英政府は休戦交渉の前提として次の四条件を掲げているといわれる

一、ドイツ軍の無条件降伏

一、降伏申入は米英ソ三国に対し平等に提示されること

一、米英ソ三国政府はドイツに対し講和条件を示さない

一、ヒムラー氏その他何人が今回の交渉を斡旋しても聯合國は特別の恩典を施さない

〔モスクワ卅日発同盟〕スターリン元帥は卅日恒例のメーデー布告において次の通り声明した

聯合諸国はファシズム並にドイツ軍国主義を破壊し、その蒙らしめた損害を十分に償わせる決意だが、ドイツ民衆が聯合軍の命令を忠実に履行するならば、聯合国は苛烈な条件を課さぬ

以上スターリン元帥の声明は一昨年の革命記念演説における声明を再確認するものでドイツに対するソ聯の政策を明かにしたもののだが一方赤軍司令官は既にベルリン占領地区の軍政を実施しているといわれる

（読売報知）

### 戦争は近く終焉

〔チューリッヒ卅日発同盟〕ドイツの手に残された唯一の放送局たるハンブルグラジオは卅日ドイツ全国民に対して次の悲壮な放送を行った

戦争はまっしぐらに終局に近づきつつあり終焉は恐らく近く訪れるものと思われる、数十万のナチ黨員の家族、数百万のドイツ婦女子は父の帰りを、夫の帰りを待ち侘びて窓辺にたゞずんで空ろな街路を見守るであらうが諸君の父、諸君の夫は永遠に帰って来まい、われわれはドイツのよりよき未来のために仆れた英雄に今別れを告げようではないか

〔ストックホルム特電廿九日発〕ベルリン放送は總統大本營の戦況公報を依然継続しているが廿九日の放送が数日前まで行われたベルリン防衛戦の勇士に対する總統の勲章授与のことを報じていないことは注目されている、特に重大な意味を附するものは同放送が戦況公報に続いてフリードリッヒ大王の『結末がくれば余は名譽をもってそれをとるであろう』という言葉を引用していることで總統以下の悲壮な決意を物語るものである

（毎日）

くたくたに疲れて、なんにもできない。これでは困る。